

環境経営レポート

【対象期間】 2023年12月1日～2024年11月30日

第5号



作成日 2025年 2月25日

あづま化工株式会社

あづま化工株式会社

環境経営方針

あづま化工株式会社は、事業活動を通じて、地球環境に与える負荷の緩和に向けた取組みや様々な環境活動に、全員参加で、自主的・積極的に取り組みます。

1. 当社に適用される法規制、当社が同意する要求事項を遵守します。
2. 省エネ活動で二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 材料の有効利用と分別徹底により廃棄物の削減に努めます。
4. 化学物質の適正管理に努めます。
5. 設備・機器・車両等は省エネ・省資源を考慮して選択します。
6. お客様の省エネ・省資源を支援します。
7. エコ活動を通じて、明るく活気のある職場づくりを推進します。
8. 環境教育を通じて、全社員にこの環境経営方針を周知するとともにPDCAに基づく環境経営の継続的改善に努めます。

制定日：2019年 8月20日

代表取締役社長 仁ノ岡敬子

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

あづま化工株式会社
代表取締役社長 仁ノ岡敬子

(2) 所在地

本社：東京都大田区山王4-19-13（登記簿上の本社）

山梨工場：山梨県南アルプス市東南湖1102

（注）当社の実質上の業務の全ては山梨工場で行われていることから、「EA21 環境マネジメントシステム」の適用範囲は山梨工場とした。

(3) 環境管理責任者及び担当連絡先

環境管理責任者 副社長 小島恒夫

連絡先 TEL：055-283-0655

FAX：055-284-5955

(4) 事業内容

金属等への塗装

（金属焼付塗装・粉体塗装：プラスチック塗装・FRP塗装等）

(5) 事業の規模

従業員数：13名

床面積：660㎡

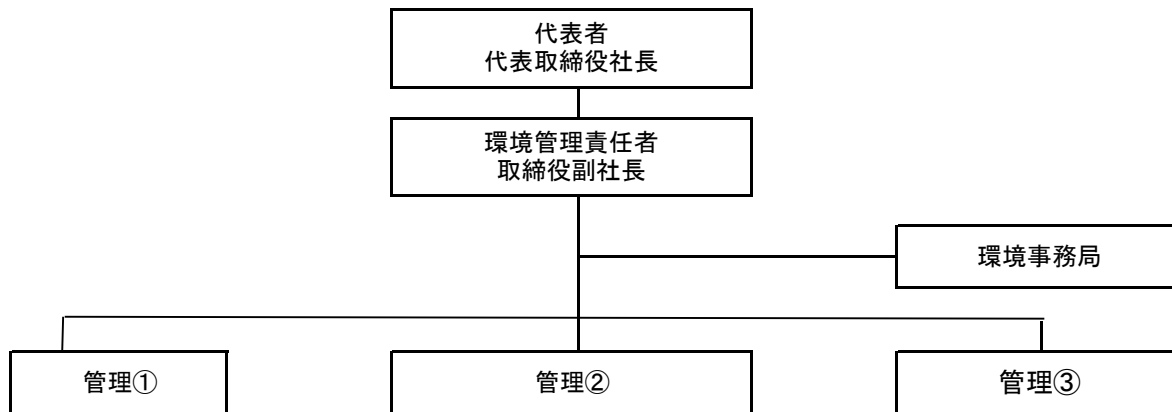
(6) 事業年度 2023年12月01日～2024年11月30日

2. 認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：あづま化工株式会社

対象事業所：山梨工場

3.実施体制図及び役割・責任・権限表



担当	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2024年度
二酸化炭素総排出量	k g -CO ₂	81,898.00
廃棄物排出量	k g	6,410
一般廃棄物排出量	k g	1,210
産業廃棄物排出量	k g	5,200

5. 環境経営目標

項 目		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		基準年度	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	30,000 100%	29,700 99%	29,400 98%	29,100 97%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	11,995 100%	11,875 99%	11,755 98%	11,635 97%
灯油・液化石油ガスの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	51,323 100%	50,810 99%	50,297 98%	49,783 97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	93,318	92,385	91,452	90,518
一般廃棄物排出量の削減	kg 基準年比	3,000 100%	3,000 100%	3,000 100%	3,000 100%
産業廃棄物排出量の削減	kg 基準年比	5,100 100%	5,049 99%	4,998 98%	4,947 97%
井戸水の節水	-	-	節水活動	節水活動	節水活動
化学物質の管理の徹底	確認	確認	数量の把握	数量の把握	数量の把握
再生シンナーの使用割合	%	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上

6. 環境経営計画及びその実績

項 目		2022年度	2024年度		評価
		(基準年度)	(目標)	(実績)	
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	30,000 100%	29,400 98%	25,929 88%	○
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	11,995 100%	11,755 98%	10,352 88%	○
灯油・液化石油ガスの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ 基準年比	51,323 100%	50,297 98%	45,617 91%	○
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	93,318	91,452	81,898	○
一般廃棄物排出量の削減	kg 基準年比	3,000 100%	3,000 100%	1,210 40%	○
産業廃棄物排出量の削減	kg 基準年比	5,100 100%	4,998 98%	5,200 104%	×
井戸水の節水	-	-	節水活動	節水活動	○
化学物質の管理の徹底	確認	数量の把握	数量の把握	数量の把握	○
再生シンナーの使用割合	%	85%以上	85%以上	88.5%	○

※電力の二酸化炭素排出係数は、0.441 k g -CO₂で算出

※水使用量の削減については、井戸水であること少量しか使用していないため環境目標は定めない。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

2023年12月～2024年11月までの目標及びその実績について、評価を行った。

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価（結果と今後の方向）
電力の二酸化炭素排出量削減	基準年度	30,000	k g-C O2	目標達成
・ 節電運動の展開	目標	29,400	98%	こまめなON、OFFや暖房温度の適正化等を行ったが結果、環境目標は達成した。
・ 不要照明の消灯	実績	25,929	88%	
・ 設備の空運転防止				
・ 工程ロス削減				
・ 冷房28℃、暖房20℃				
				今後も工程ロス削減や節電など更なる二酸化炭素排出量の削減に取り組むこととする。
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	基準年度	11,995	k g-C O2	目標達成
・ 自動車燃費向上目標の説明	目標	11,755	98%	アイドリングストップなどエコドライブに心がけたことで、環境目標は達成した。
・ アイドリングストップ	実績	10,352	88%	
・ 急加速、急停車の防止				
・ 燃費の良い車の購入（更新時）				
				今後も車の更新時には燃費の良い車の購入を検討することや、エコドライブでの削減に取り組むこととする。
灯油・LPGの二酸化炭素排出量削減	基準年度	51,323	k g-C O2	目標達成
・ 使用機器の空気比	目標	50,297	98%	灯油・LPG使用量の削減に取り組んだことにより環境目標を達成した。
・ 機器の安全点検	実績	45,617	91%	
・ 使用機器温度の適正化				
				今後も更なる二酸化炭素排出量の削減に取り組むこととする。
一般廃棄物排出量の削減	基準年度	3,000	k g-C O2	目標達成
・ 分別の徹底	目標	3,000	98%	分別収集などが徹底したことで、環境目標を達成した。
・ 帳票見直しによる印刷物の削減	実績	1,210	40%	
・ 両面印刷物用プリンタの購入				
産業廃棄物排出量の削減	基準年度	5,100	k g-C O2	目標未達成
・ 作業ミスによる廃棄量の削減	目標	4,998	98%	環境目標は若干未達成となった。
・ 素材別ボックスの設置	実績	5,200	104%	
・ リサイクル業者の開拓				
化学物質の管理の徹底	基準年度	確認		目標達成
・ 化学物質の表示の徹底	目標	数量の把握		化学物質の表示の徹底、容器の蓋の確認などを行い確作業を徹底させた。
・ 容器の蓋の徹底	実績	数量の把握		
・ 作業ミスによる使用量増加の抑制				
再生シンナーの使用割合	基準年度	85%以上		目標達成
・ 使用シンナーのうち再生シンナーの使用割合を85%以上にする。	目標	85%以上		再生シンナーの使用割合をできるだけ多くしたことにより、環境目標を達成した。
	実績	88.50%		
井戸水の節水	節水活動	節水活動		節水活動を行なった。

8. 次年度の取組内容

次年度も本年度と同様、以下の内容について取り組むこととする。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②一般廃棄物排出量の削減
- ③産業廃棄物排出量の削減
- ④化学物質の管理の徹底
- ⑤再生シンナーの使用割合の増加

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が対象となる環境関連法令は、廃棄物処理法、悪臭防止法、騒音規制法、振動規制法です。これらの法令についての遵守状況を確認したところ、適法に運用されているとの結果が得られました。また、当社に係る違反、訴訟等はありませんでした。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し

2022年度を基準年度として中長期計画・目標を設定し取り組んだ結果、二酸化炭素排出量削減を達成したことは良かったですが、産業廃棄物排出量の削減は未達成となった。次年度も継続して削減目標に取り組んでいく。